

令和7年度 第3回 古賀市国民健康保険運営協議会 議事録（要旨）

【会議の名称】 令和7年度 第3回 古賀市国民健康保険運営協議会

【日時・場所】 令和8年1月16日（金） 19:00～20:00
古賀市役所 第2庁舎5階 501～503会議室

【主な議題】 1. 令和8年度の制度改正（予定）について
2. 国民健康保険税率の検討について
(1)県への納付金の本算定額を踏まえた国保税率の検討
(2)答申の検討

【傍聴者数】 0名

【出席委員】 7名
横田昌宏会長、芝尾郁恵会長代理、前田豊河委員、大岩久夫委員、
森田正浩委員、永嶋恵美委員、長崎恵子委員
欠席委員： 矢野洋子委員、中野恵里子委員

【事務局】 7名
市民部長（簗原）、市民国保課長（長野）、市民国保課国保係長（前田）
市民国保課国保係（2名）、健康介護課健診指導係長（江野）

【配布資料】 ・ 令和7年度第3回古賀市国民健康保険運営協議会資料

【会議の内容】

1. 開会

2. 会長あいさつ

(委員からの意見、質問なし)

3. 議事

1. 令和8年度の制度改正(予定)について

- ・市民国保課国保係長より資料説明

(委員からの意見、質問なし)

2. 国民健康保険税率の検討について

(1) 県への納付金の本算定額を踏まえた国保税率の検討

- ・市民国保課国保係長より資料説明

(資料に対する意見、質問)

会長 資料5ページ「税額改定影響試算(世帯パターン別)」の世帯構成例④～⑤は過去の運営協議会で示した世帯パターンと同一か。

国保係長 同一である。

会長 資料4ページ「市国保の収支の見込み」について、本算定額では県への納付金が仮算定時よりも減額となったが、これを踏まえた推計では令和10年度の基金残高の見込みは仮算定時より増加したという認識でよいか。

国保係長 お見込みの通り。

委員 今後、令和10年度より後に保険税率の県内統一があると思うが、統一の時点では基金残高は残らなくてもよいということか。

国保係長 お見込みの通り。保険税率が県内統一された場合、基金を活用して保険税率を下げることはできなくなるため、県内統一までに基金を活用し残高をできる限り減らしておくことが望ましい。今後、平準化の時期を見据えながら、国保税率改定を検討する際には基金残高を考慮しながら税率を設定していくことになると考えている。

会長 今回、県から令和8年度の納付金の本算定が示されている。
前回の協議会では、県の仮算定時点の方向性として、

- ・「子ども・子育て支援金分」は、県が仮算定で示した税率をそのまま適用すること、
- ・他の3区分（医療分・後期高齢者支援金分・介護納付金分）は変更せずに据え置きすること

としていたが、今回、県から示された本算定の内容を踏まえ、この方向性のままでよいかご意見を伺いたい。

（委員からの意見、質問なし）

会長 それでは、この2点についての方向性は変更しないこととしたいがよろしいか。

（各委員、異議なし）

（2）答申の検討

- ・市民国保課国保係長より資料説明

会長 先ほどの協議の結果を踏まえて、答申の内容を確定したい。
事務局が作成した答申案は先ほど確認した通り、前回の協議会時で決定した方向性の内容を反映させたものになっているが、委員の皆様からの意見を伺いたい。

（委員からの意見、質問なし）

会長 それでは、本日整理させていただいた内容を国保運営協議会としての答申としたい。

最終的な答申については、

- ・会長が運営協議会を代表して、後日市長に答申を行うこと
- ・万が一、軽微な文言の修正の必要が生じた場合は、会長に一任いただくということによろしいか。

（各委員、異議なし）

3. その他

- ・議事録署名委員は、会長から芝尾委員を指名。

4. 閉会